

久山中便り

久山中学校
令和8年3月16日発行
第81号

誇らしい卒業生

卒業証書授与式

3月13日(金)。第79回卒業式にて、誇らしい卒業生たちを送り出すことができました。卒業生への感謝を込めた式辞を紹介いたします。

式辞

校門前の歩道で、早朝から汗を流して清掃するボランティアの生徒達。

指先まで集中力が行き届いた集団行動と笑顔いっぱいダンスを体育会で披露した仲間。道徳の日の挨拶運動への参加やトリアスでの募金活動で汗だくになって頑張った三年生。学校への敬意を払い、仲間を思いやり、地域での活動を大切にする生徒が集うこの久山中学校。そんな、心優しい生徒たちが集まる本校で、令和七年度第七十九回久山町立久山中学校の卒業証書授与式を挙行でき、子供たちを祝福の中で送り出すことができました。心よりうれしく思います。

百二名の卒業生のみなさん、卒業おめでとう。学習に、行事に、そして、自分のため、他者のため、地域のために本当によく頑張った

た誇らしい卒業生たちです。そんな卒業生の皆さんから、学んだことがあります。

一つは、「仲間を思う絆の強さ」です。

懸命に走ったブロック対抗リレーで、うまくいかず責任を感じるブロック長と、それを慰める仲間たち。

仲間の歌声のよさを引き出すために心を込めてタクトを振り続けた指揮者と、それに応えた学級の友。

そんな他者を思いやる気持ちは、学校行事の様々な場面で見ることができました。体育会の競技リーダー、合唱リーダーや指揮者・伴奏者など。そして、この後の合唱の伴奏者は、自分のことも行いながら、きつと、みんなが見ていないところで、仲間のために努力してくれたのだらうと思います。

だからこそ、周りを感動させる行事や活動が出来上がったのだと思います。そんな仲間を思う一人一人の姿に心を打たれました。

二つは、「夢をもつことの大切さ」です。

「助産師になりたい」「検察官になりたい」「国際社会に貢献したい」など、将来展望を掲げている皆さんは、その目標の具現化のために、今、できることを自ら考え、実践しています。

夢を持つことは、自身の目標が明確になるとともに、努力を継続する力が強くなります。

格上の相手に果敢に挑戦し、見事、地区大会への出場を決めた夏の中体連。

一度目はうまくいかなかった試験も、再度、

諦めずに挑戦して合格を勝ち取った高校入試。みなさん自身が、志

を高く掲げることは、社会のいろいろな壁にぶつかっても、それを

乗り越える力となります。そんな姿に感動しました。

これからも「夢を追

い続け、久山中の卒業生として、さらに大きく成長し、変化の激しい社会でも活躍されること」を心から期待しています。

このような素直で心優しい子供たちを育てていただいた保護者の皆様にもお礼申し上げます。絶えず愛情を注がれ、不安や悩みに寄り添われたことだと思います。そのかいあって、この三年間で、たくましく成長されました。きつと本校の卒業生たちは、これからも仲間を思いやり、家族を大切にし、久山町を愛し、やがて久山町に貢献する成長した人物となってくれらると信じています。

それでは、卒業生の皆さん。いよいよお別れです。志を高く掲げ、素晴らしい未来を切り開いてくれることを祈念して、式辞といたします。

第79代の久山中卒業生

これからの変化の激しい時代を

「超えてゆけ」

